

公立大学法人札幌市立大学の理事長予定者の選考結果について

現理事長が平成 30 年 3 月 31 日をもって任期満了となるため、公立大学法人札幌市立大学理事長選考会議（議長：恩村 裕之（北電興業株式会社 取締役社長））で選考を行った結果、中島 秀之氏を次期理事長予定者として選考いたしましたのでお知らせいたします。

1 次期理事長予定者について

氏 名 中島 秀之（なかしま ひでゆき）

生年月日 昭和 27 年 11 月 14 日（65 歳）

最終学歴 東京大学大学院工学系研究科情報工学専門課程博士課程修了

学 位 工学博士

略 歴

昭和 5 8 年 4 月 通商産業省工業技術院電子技術総合研究所入所

平成 1 1 年 4 月 北陸先端科学技術大学教授（併任）

平成 1 3 年 4 月 （機構改革により）独立行政法人産業技術総合研究所サイバーアシスト研究センター研究センター長

平成 1 6 年 4 月 公立はこだて未来大学学長

平成 2 0 年 4 月 公立大学法人公立はこだて未来大学理事長・学長（平成 28 年 3 月まで）

平成 2 8 年 6 月 東京大学大学院情報理工学系研究科特任教授（現在に至る）

平成 2 8 年 1 1 月 株式会社未来シェア取締役（兼業）

平成 1 8 年 8 月 日本学術会議連携会員（現在に至る）

平成 2 8 年 1 月 NEDO 技術戦略研究センター フェロー（現在に至る）

平成 2 8 年 4 月 理化学研究所 健康脆弱化予知予防コンソーシアム会長（現在に至る）

平成 2 9 年 4 月 サービス学会誌編集委員長（現在に至る）



2 次期理事長の任期

平成 30 年 4 月 1 日から平成 34 年 3 月 31 日まで（4 年間）

3 任 命

理事長の任命は、公立大学法人からの申出に基づき札幌市長が行います。

なお、公立大学法人札幌市立大学定款の規定により、理事長は札幌市立大学の学長となります。

4 選考経過（平成 29 年）

7 月 2 4 日 第 1 回理事長選考会議（議長選出、会議運営の確認、選考日程・公示案について、選考方法について）

9 月 1 9 日 第 2 回理事長選考会議（国立大学法人法改正等による学長選考の考え方と対応について、意向調査の取扱いについて、選考日程・公示案の一部変更について）

1 0 月 2 日 公 示

1 0 月 2 3 日～1 0 月 2 7 日 理事長候補者推薦受付

1 1 月 1 4 日 第 3 回理事長選考会議（候補者推薦書等の受理、候補者の決定、公表について）

1 2 月 5 日 第 4 回理事長選考会議（候補者の書類審査・面接選考、理事長予定者の決定）

5 選考理由

理事長選考にあたっては、本選考会議が定めた「次期理事長兼学長に求められる資質・能力等について」に定める、「基本」「リーダーシップ」「法人経営」「教育・研究、地域貢献」「主要課題」の

それぞれの事項に照らし、書類選考及び面接を実施した。

候補者である中島氏は、情報処理技術や人工知能に関する数多くの研究業績を有するとともに、公立はこだて未来大学において理事長・学長を12年間務め、同大学の発展に大きく貢献された教育・研究面でのリーダーシップと法人経営の手腕を高く評価したところである。

また、教職員の創意工夫のもと、ボトムアップを原則とした組織のチームワークを重視している点をはじめ、何よりも人材教育を重視している点、教職員の評価において研究や業務等の成果のみならず普段の取り組み姿勢に重きを置いている点、さらには事務局の重要性を認識し、教員と職員が一体となって大学を運営していく姿勢についても高く評価したところである。

加えて、本学の特長であるデザインと看護の連携について、デザインと中島氏の専門である情報処理技術を融合し、看護の未来を創造していくという考えや、自ら広告塔となって本学の取り組みを積極的にPRしていくこと、また、これまで築いてきたネットワークを活用して、他大学との連携の実現に向けて積極的な意欲を示していることなど、本学の新たな可能性の広がりが大いに期待できる。

以上により、中島氏は本学の次期理事長として適任であると判断し、理事長予定者として選考した。

6 理事長予定者の抱負

ITとAIが世の中を急速に変えようとしています。コンピュータが世に出てから現在までの50年あまりの変化は激しいものでした。特にインターネットが社会のあり方を変えつつあります。技術革新は加速しているので、これまでの50年の変化と同等のものが次の5年で来ると考えています。

このような激変の時代にあって、大学教育も変わらなければなりません。そう考えたときに公立大学の使命は単純明快です。地域のための知の拠点として、未来を描き、そのための人材を育成するのが大学の使命です。世界に先駆けて高齢化社会を迎える日本（「課題先進国」と呼ぶ人もいます）において看護は重要な課題です。次世代の看護の姿をデザインし、そしてそれを実現していくためにはITが必要です。看護とデザインを誇る大学に、私はITとAIを持ち込みたいと考えています。それは今後の公立大学のあるべき姿を先導するはずで

(参 考)

理事長の選考は、地方独立行政法人法及び公立大学法人札幌市立大学定款の規定に基づき設置された理事長選考会議【議長 恩村 裕之 委員数6名（経営審議会選出委員3名、教育研究審議会選出委員3名）】によって行われました。

【経営審議会選出委員】（敬称略）

恩村 裕之 （北電興業株式会社 取締役社長）
花井 秀勝 （フュージョン株式会社 代表取締役会長）
川上佳津仁 （公立大学法人札幌市立大学 事務局長）

【教育研究審議会選出委員】（敬称略）

上田 順子 （公益社団法人北海道看護協会 会長）
樋之津淳子 （公立大学法人札幌市立大学 副学長・看護学部長）
城間 祥之 （公立大学法人札幌市立大学 デザイン研究科長）

【担当・連絡先】

〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目
札幌市立大学事務局総務課

TEL 011-592-2300 FAX 011-592-2369